

研究・調査報告書

報告書番号	担当
424	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Heavy Drinking Is Associated with Poor Blood Pressure Control in the Reasons for Geographic and Racial Difference in Stroke (REGARDS) Study. The Reasons for Geographic and Racial Difference in Stroke (REGARDS)研究において、大量飲酒は血圧コントロール不良と関連している	
執筆者	
Judd SE, McClure LA, Howard VJ, Lackland DT, Halanych JH, Kabagambe EK.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
International Journal of Environmental Research and Public Health. 2011 May; 8(5): 1601-1612.	
キーワード	
糖尿病、人種、アルコール、血圧、高血圧	
要 旨	
背景・目的： アルコール摂取は血圧と J-shape の関係にあることが分かっている。しかしながら、この関係は、人種を混合した集団あるいはより厳格な血圧コントロールが推奨される糖尿病の集団では示されていない。したがって、人種を混合した集団や糖尿病の集団においてもアルコール摂取が血圧と J-shape の関係にあるかどうか調べることにした。	
方法： この REGARDS study の参加者には 45 歳以上の 30,239 名が含まれた。自宅訪問にて血液採取や臨床的測定が行われたが、自己申告のアルコール摂取量を含む治療歴は電話にて集められた。糖尿病を内服中あるいは空腹時血糖 126mg/dl 以上と定義し、高血圧を 140/90mmHg、糖尿病患者では 130/80mmHg と定義した。	
結果： 交絡因子で調整後、大量飲酒は高血圧のオッズ比増加と関連していた(オッズ比 1.59、95%信頼区間 1.37~1.87)。サブグループ解析で大量飲酒は高血圧のオッズ比増加に関連があったにも関わらず、糖尿病と性別はアルコール摂取と高血圧との関連性に有意に影響した(どちらも相互作用 P 値 0.05 未満)。過去に示された J-shape の関係は、白人女性を除くどのサブグループ解析でも観察されなかった。	
結論： 以上のデータは、大量飲酒が血圧コントロール不良に関連することや、大量飲酒者が高血圧を管理するためにはアルコール摂取制限を考慮すべきであることを示唆している。	